

Dream League【2014season】実施要項(案)

1 主 旨

○「Players First」

育成年代のサッカー環境に関わる大人は、子どもたちの未来に触れている。指導者、保護者・サポーターが力を合わせて、子どもたちにとって良いサッカー環境を作り出していく。

○「Try & error」

負けや失敗を恐れずに、挑戦していく気持ちそして、自ら考える力をつけ、クリエイティブで強くて逞しい選手を育成する。

2 名 称

Dream League(ドリームリーグ)

3 主 催

Dream League実行委員会

4 参加チーム

- ①ウィンズ フットボールクラブ 土浦②クワガタFC③バンビーノSC④M.I.C FC⑤下館小あしかびSS⑥フェニックスFC
- ⑦イーレクス古河⑧古河SC⑨大谷東FC

5 期 日

2014年4月～12月

- ①4/29(祝火)②5/11(日)③6/8(日)④7/20(日)⑤8/17(日)⑥9/7(日)⑦11/8(日)⑧12/7(日)

※諸事情で実施できなかった場合は、当該チームで話し合い、できるだけ次節までに実施すること

6 会 場

県内各会場

7 参加資格

- (1)『Dream League』の主旨を理解し、賛同したチームであること。
- (2)U-10年代(小学校4年生以下)の選手でチームが構成でき、引率者が帯同できること。
- (3)スポーツ障害保険に加入していること。

8 参加費

5,000円

9 競技規則

○現行の(公団)日本サッカー協会の競技規則及び、小学生の年代の選手のための8人制サッカールールによる。

(1)競技のフィールド

- ①大きさ:68m×50mを推奨するが、試合の会場の大きさによって修正しても良い。
- ②ペナルティエリア:12m ペナルティマーク:8m ペナルティアーク:7m ゴールエリアの縦:4m センターサークルの
- ③ゴール:5m×2.15m(少年サッカー用ゴール)
- ④交替ゾーン:自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交替ゾーンを設ける。
(ハーフウェーラインを挟んで3mずつ)

(2)試合球

検定4号縫いボールとする。(両チーム持ち寄り)

(3)試合時間

30分(15分-5分-15分)を公式記録とし、+15分の試合を行う。

※キックオフ時間など当日の日程に関しては、幹事チームを中心に対戦するチームで連絡を取り合い決定する。

(例)A対B→[A'対B'(15分ハーフ)]→B対C→[B'対C']→C対A→[C'対A']など

(4) 競技者の数

- ① 8人(内1人はゴールキーパー)を基本とする。
- ② 選手が全員出場できるようにする。※
- ③ 交替の手続き
 - 交替して退く競技者は、交替ゾーンからフィールド外に出る。

(5) 競技者の用具

- ① 試合用ユニフォームは、できれば正副2着を用意すること。ただし、ビブスでの出場も可とする。
- ② ゴールキーパーも、ビブスでの出場を可とする。
- ③ レガースを着用すること。

(6) 審判

- ① 審判は当該チームで行う。
- ② 試合は1人審判とする。(主審は、フェアプレー精神ある行動やリスペクトある行動をとった競技者にグリーンカードを示す。)
- ③ 審判は、審判服を着用すること。

(7) 勝ち点

勝ち点方式とする。〈勝ち=3点、引き分け=1点、負け=0点〉勝ち点が並んだ場合は、得失点差、総得点、当該チームの結果それでも決しない場合は、同順位とする。

10 その他

- (1) 雨やその他の理由でのゲームの延期に関する態度決定は、幹事チームが行い、対戦チームに連絡する。
- (2) クリエイティブで強くたくましい選手を育成するために、各チームの指導者は、判断を押しつけたり、選手の判断を奪ったりするような指導を控え、選手の『状況把握』『判断』『実行』できる力を伸ばすようなコーチングに努める。
- (3) 各チームは会場における注意事項を守るとともに、サッカー関係者としてのマナーに十分心がけ、会場使用上の注意に従うこと。
また、保護者(観戦者)の応援についても、コーチングはコーチに、ジャッジはレフリーに、プレーは選手に任せるよう観戦の仕方について啓発、指導する。

★『Dream League(U-10)』事務局
フェニックスFC 齊藤 和浩
バンビーノSC 猪瀬 芳美
携 帯 090-1456-8845(齊藤)
090-9859-0791(猪瀬)
E-Mail phoenix.fc.2013@gmail.com